

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期館林市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県館林市

### 3 地域再生計画の区域

群馬県館林市の全域

### 4 地域再生計画の目標

わが国においては、少子高齢化の進行とともに人口減少時代に突入しており、社会全体が縮小し、国内市場の売り上げ減少や人手不足の深刻化、社会保障制度の崩壊などの様々な問題の発生が懸念されている。

本市においても、平成17年（2005年）の79,454人をピークに人口の減少局面に入っており、今後、将来的な人口は大幅に減少し、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した算出によると、令和52年（2070年）には約4万人にまで減少すると予想されている。

人口減少が進行すると、社会全体が縮小し、人手不足の深刻化や社会保障制度の崩壊などの様々な問題の発生が懸念されることから、本市の持続的な発展に向けて「人口減少対策」を念頭に置いた地方創生施策の展開が急務となっている。

そのようなことから、本市では、まちづくりの基本方針となる市の最上位計画である「第6次総合計画後期基本計画」における重点テーマとして「人口減少対策」を位置付け、人口減少の要因となる、「自然減」と「社会減」の2つの側面それぞれに対応した取組を進めるとともに、人口減少が進行した状況下においても市民サービスを維持するための「持続可能な行政運営」を目指すこととしている。

こういった背景を踏まえ、本計画においては、「人口減少対策」を念頭に置きながら、地域の社会課題解決や魅力向上を図るために必要である「デジタルの力

の活用」を図りつつ、次の4つの基本目標を定めることとする。

- ・基本目標1 まちの活力を高め、安定したしごとをつくる
- ・基本目標2 まちの魅力やにぎわいを創出し、新しい人の流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもたちを育む
- ・基本目標4 誰もが安全・安心に暮らせる、魅力的なまちをつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内製造業企業数	217社	230社	基本目標1
	市内製造業従業者数	8,226人	8,600人	
イ	社会増減数	234人	300人	基本目標2
	観光入込客数	1,519,158人	1,650,000人	
ウ	自然増減数	△735人	△1,200人	基本目標3
	合計特殊出生率	0.95	1.42	
エ	住みよさランキング	379位	210位	基本目標4
	行政手続のオンライン化 に関する市民満足度	3.6/5.0	4.0/5.0	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

館林市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア まちの活力を高め、安定したしごとをつくる事業
- イ まちの魅力やにぎわいを創出し、新しい人の流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもたちを育む事業
- エ 誰もが安全・安心に暮らせる、魅力的なまちをつくる事業

## ② 事業の内容

### ア まちの活力を高め、安定したしごとをつくる事業

- ・ 事業中の産業団地の造成の着実な実施と、継続した団地開発に向けた検討などを進め、市内への企業の誘致を推進する。
- ・ 地域の事業者に向けた各種支援を実施するとともに、関係機関と連携し、働きやすい職場環境の整備や市内企業の魅力発信などを進め、市内への就職の促進に取り組む。

#### 【具体的な事業】

- ・ 新規団地の造成と拡張
- ・ 企業誘致の推進
- ・ 経営の支援
- ・ 若年層の市内就職の促進
- ・ 営農環境の整備 等

### イ まちの魅力やにぎわいを創出し、新しい人の流れをつくる事業

- ・ 本市の魅力の発信やきめ細やかなサポートによる移住・定住の促進を図る。
- ・ 市外の方が地域と関わる機会を提供する官民連携の取組の実施などにより、地域の活性化につながる関係人口の創出・拡大を図る。
- ・ 世界一のつつじや日本遺産「里沼」、歴史ある街並みなどのまちの資源の効果的な発信及び本市のブランドイメージの向上に官民連携により取り組む。
- ・ まちなかの賑わい向上につながる公共空間の効果的な利活用などにより、魅力的なまちづくりを推進する。

#### 【具体的な事業】

- ・ 日本遺産「里沼」を活用した地域の魅力発信や環境整備
- ・ 観光資源の創出と活用

- ・移住・定住の促進及び関係人口の創出・拡大
- ・積極的なシティプロモーション 等

#### ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもたちを育む事業

- ・ライフスタイルの多様化を踏まえ、結婚を希望する方に対する経済的支援や出会いの機会の提供など、様々な婚活支援に取り組む。
- ・妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を充実させるとともに、より良い教育環境を整備することにより、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する。

##### 【具体的な事業】

- ・結婚を希望する方への支援
- ・妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援
- ・より良い教育環境の整備 等

#### エ 誰もが安全・安心に暮らせる、魅力的なまちをつくる事業

- ・大規模な地震や風水害などの災害、交通事故、犯罪など、様々な危険から生命及び財産を守る。
- ・快適で便利な都市基盤の整備を進め、市民の安全・安心な暮らしを確保する。
- ・子どもからお年寄りまで、誰もが生きがいを持って暮らせる地域をつくる。
- ・DXの推進などによる市民の利便性向上や行政コストの削減を図り、持続可能なまちづくりを推進する。

##### 【具体的な事業】

- ・災害に強いまちづくり
- ・防犯力の強化
- ・道路・交通環境の整備
- ・DXの推進などによる持続可能な行政運営 等

※ なお、詳細は第3期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,750,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 9 月頃に市の附属機関である「館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針等を決定する。検証後、速やかに本市公式ホームページにて公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

**6 計画期間**

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで